



フィレンツェ景観の祖、ヴェッキオ宮殿での歴史ロマンあふれる演奏・・

イタリア フィレンツェ パラッツォ・ヴェッキオ(ヴェッキオ宮殿)。
 建築700年を超えてなお、その優美な佇まいを見せる歴史的建築であり、現・フィレンツェ市庁舎でもある。ルネサンス時代、絶大なる権力を有していたメディチ家も一次居住しており、後に傍系のコジモ一世が旗振・建築を命じたウフィツィ美術館やヴァザーリの回廊と併せ、現在のフィレンツェの街並をつくりあげた根幹となる場所である。この素晴らしい歴史的舞台で、優秀なるコンコレンテ(出場者)たちは、堂々とその演奏を披露する。



▲フィレンツェ市長や、ルチアーノ・アルヴェルティ先生(シエナ国立音楽院元学長・本協会顧問)をはじめ、VIPが見守るなかでの演奏披露。音楽と造詣の芸術美を表現することも、彼らは学ぶ。

- ◀左: 五百人広間。レオナルド・ダ・ヴィンチの『アンギアーリの戦い』がこの壁面裏に現存していると有力視されている。
- ◀右: 謁見の間。巨大フレスコ画と天井の見事な空間に、見るものは心を奪われる。

最高級リゾート・名勝サンタマルゲリータ～ポルトフィーノ。地中海の宝石と謳われる地に響く、日本代表たちの音色・・



「リビエラの宝石」最高級リゾート・サンタマルゲリータ市からの素晴らしいお招きにて実現した、市・主催宮殿での演奏会、市長・主催歓迎パーティーにて、演奏を披露。日常的にクラシックを耳にしているイタリア人たちをうならせる演奏に、音楽の未来を感じた・・。



▲この演奏会のための特別なプログラム。



**パラッツォ・クザーニ(クザーニ宮殿)での演奏会。
 ヨーロッパNATO最高位将軍閣下、ミラノ公爵、ミラノスカラ座関係者、
 在ミラノ日本領事を筆頭としたVIPが見守るなか、栄誉の演奏。**

イタリア軍管轄の入館制限厳しい クザーニ宮殿。入館にはパスポート必携のヨーロッパNATO。通常、このような場所での演奏会はありえないが、当協会とイタリアの厚い信頼関係により実現の運びとなった。ヨーロッパNATO最高位将軍閣下、ミラノ公爵、ミラノスカラ座関係者、在ミラノ日本領事を筆頭としたVIPが見守るなか、日本の音楽家たちがその音色を披露。歴史に名を刻む時間となった。



◀京都を代表する有名寺「高台寺」から出展されました「ねね様」の宝物逸品を背景に、演奏者の面々。
 この開催年である2013年は、西行法師未裔の京都・西行庵当主によるキリシタン大名「高山右近」由来の献茶儀式の初公開、クラシックの生演奏に合わせながらその場で文字が描かれるパフォーマンス書道の初公開など、多勢の鑑賞者が日本の文化に魅入り、日本の伝統美に賛辞が評された。
 音楽と、芸術と、歴史・・・人種や国を超えて美しい融和となる瞬間であった。

